

第2章 政治・職場における女性の活躍について

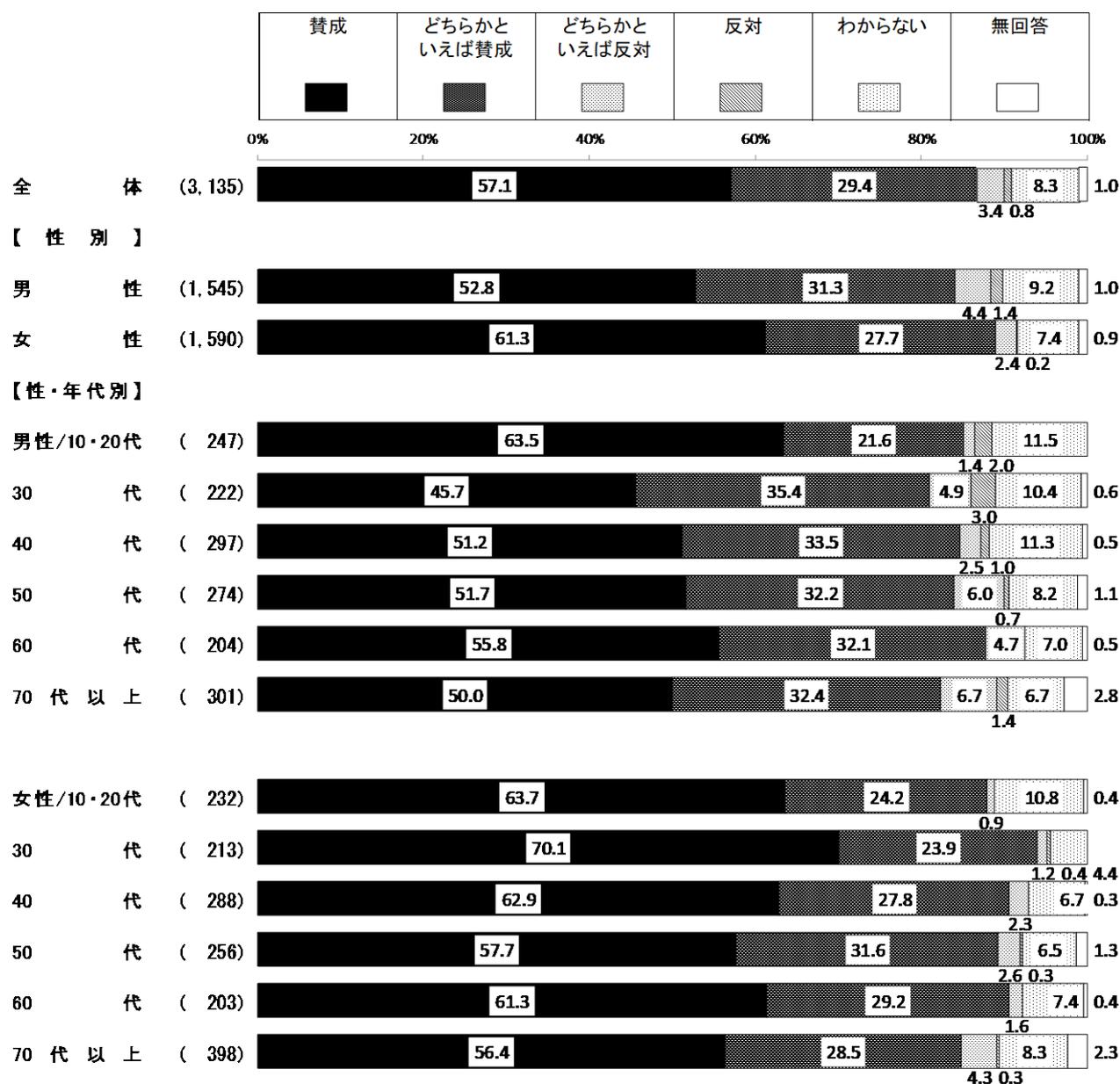
1 女性政治家の増加についてどう思うか(問5)

女性政治家（閣僚・議員・都道府県知事・市町村長等）の増加についてどう思うかをたずねた。全体では“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）が圧倒的多数（86.5%）となっている。

性別で見ると、“賛成”は女性（89.0%）が男性（84.1%）を4.9ポイント上回っている。

性・年代別で見ると、いずれの年代でも“賛成”が“反対”（「どちらかといえば反対」と「反対」の合計）を上回っており、とくに女性の30代では“賛成”が94.0%と最も高くなっている。

図表2-1 女性政治家の増加についてどう思うか — 性別、性・年代別



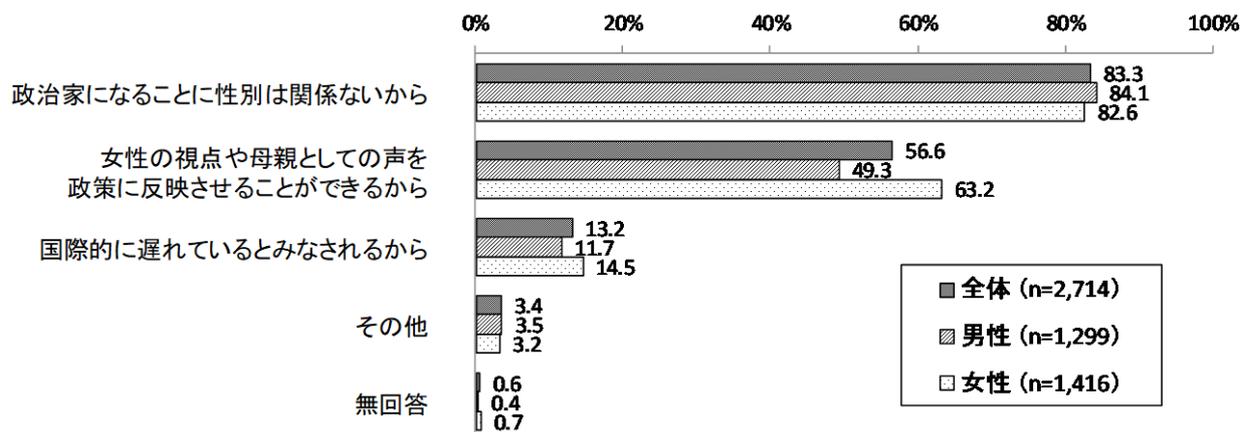
1-1 女性政治家の増加について賛成する理由(問5-1) (複数回答)

女性政治家の増加について「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答した人(2,714人)に、その理由をたずねた。

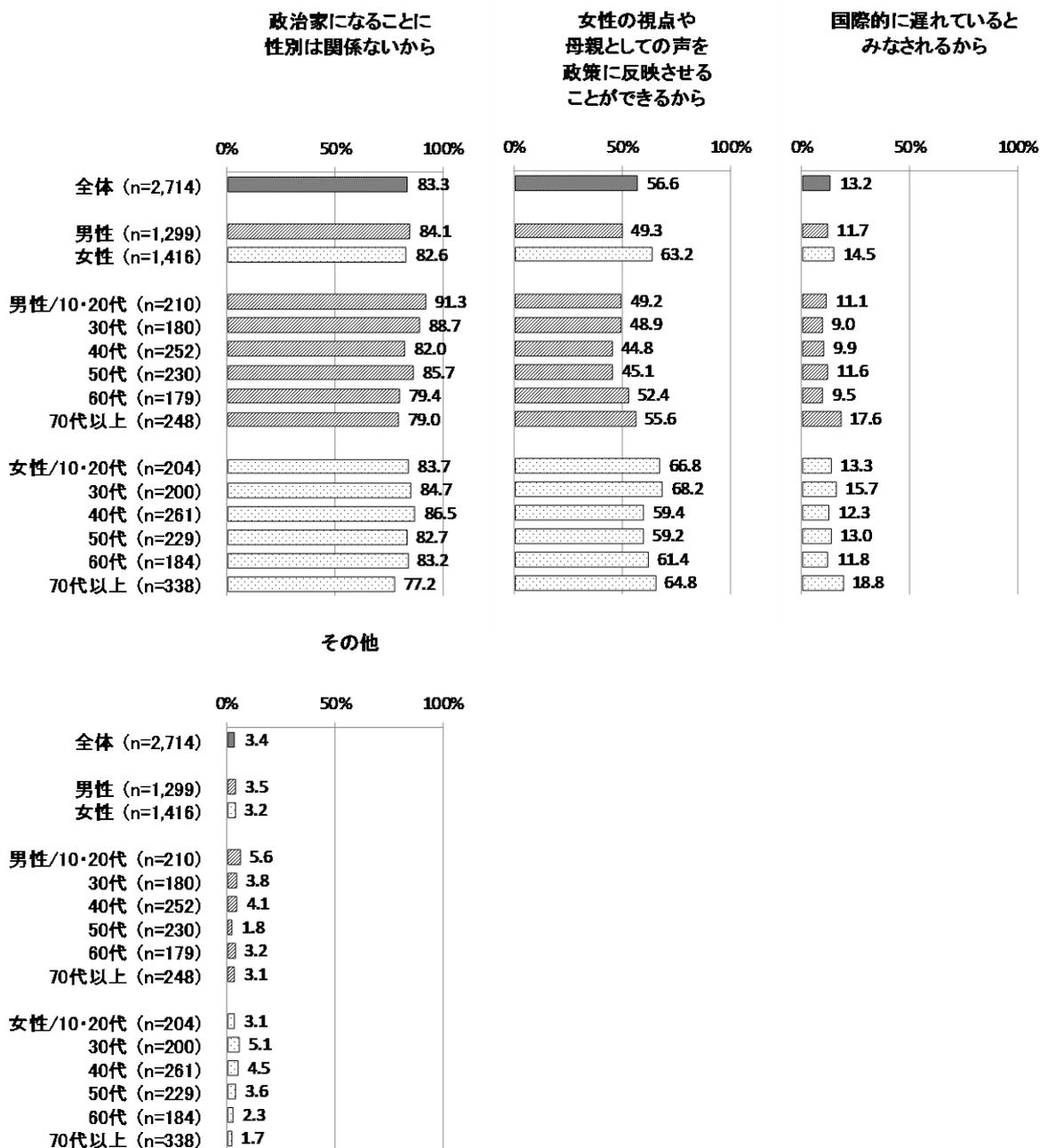
全体では、「政治家になることに性別は関係ないから」(83.3%)の割合が最も高かった。

性別で見ると、「女性の視点や母親としての声を政策に反映させることができるから」では女性(63.2%)が男性(49.3%)を13.9ポイント上回っている。

図表2-1-1 女性政治家の増加について賛成する理由 - 性別



図表 2-1-1-1 女性政治家の増加について賛成する理由 - 性別、性・年代別



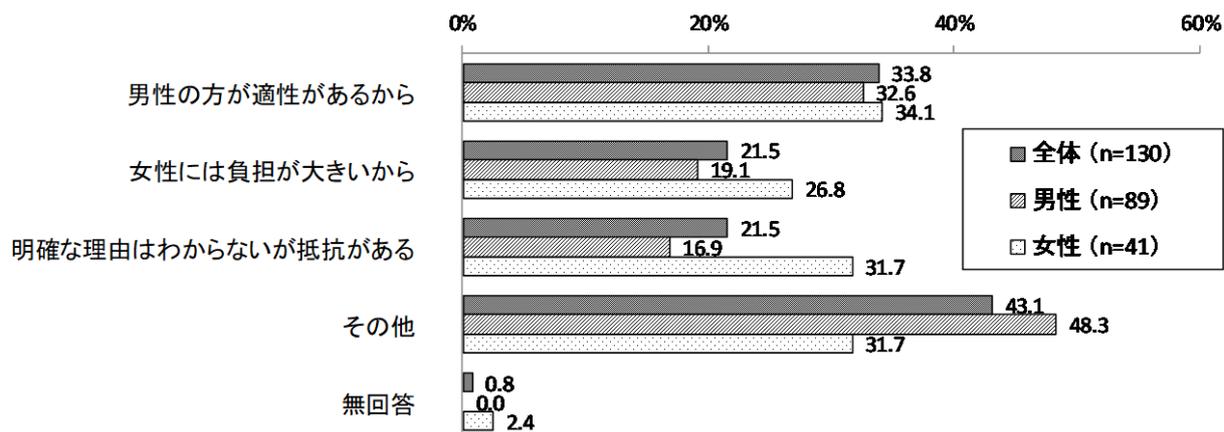
1-2 女性政治家の増加について反対する理由(問5-2) (複数回答)

女性政治家の増加について「どちらかといえば反対」「反対」と回答した人(130人)に、その理由をたずねた。

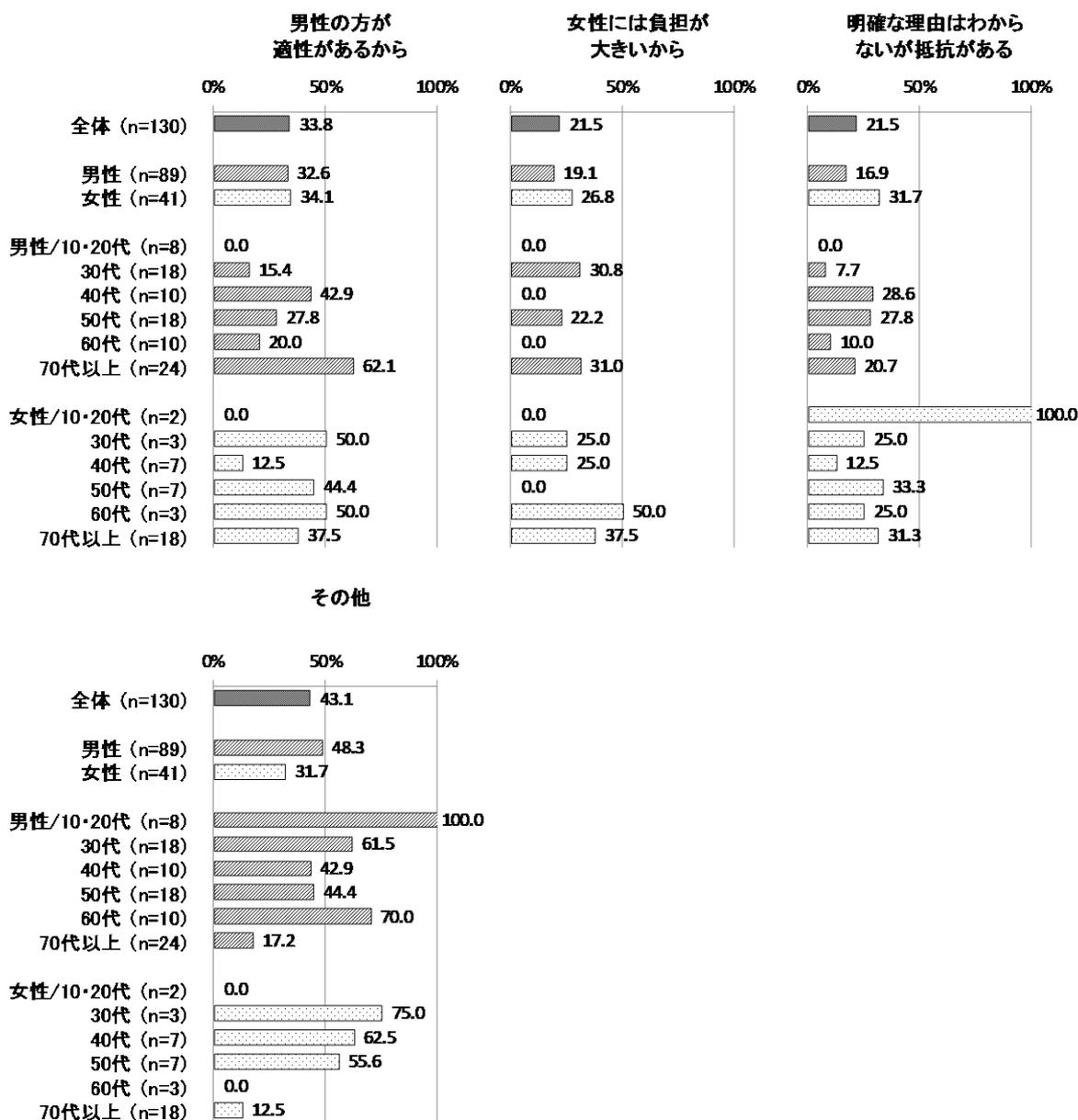
全体では、「男性の方が適性があるから」(33.8%)の割合が高くなっている。

性別で見ると、「明確な理由はわからないが抵抗がある」では女性(31.7%)が男性(16.9%)を14.8ポイント上回っている。

図表2-1-2 女性政治家の増加について反対する理由 - 性別



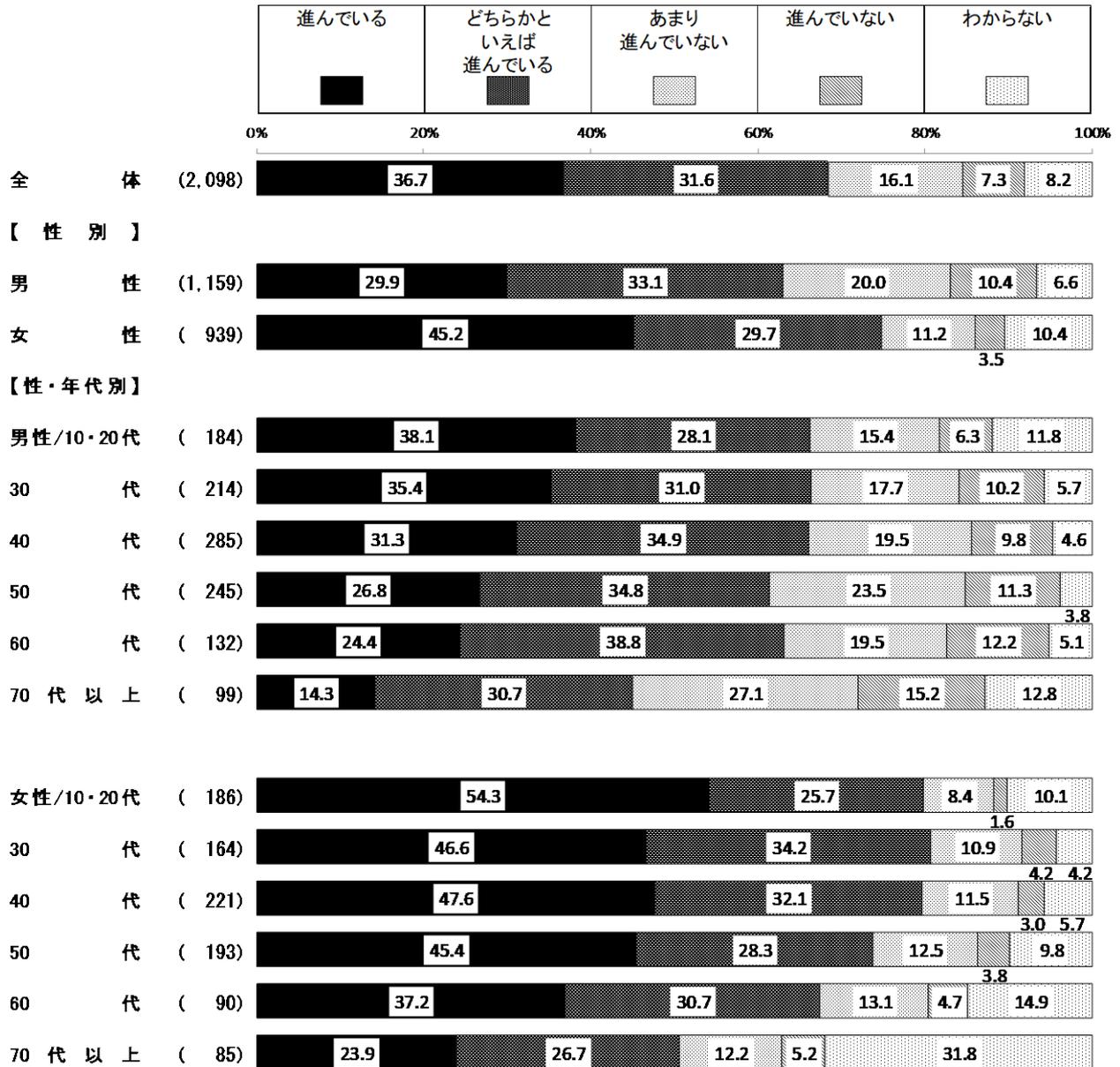
図表 2-1-2-1 女性政治家の増加について反対する理由 - 性・年代別



2 職場での女性の雇用・登用について(問6)

2人以上が勤務する職場で働く方に、職場での女性の雇用・登用の状況についてたずねた。全体では、“進んでいる”(「進んでいる」と「どちらかといえば進んでいる」の合計)が68.3%、“進んでいない”(「あまり進んでいない」と「進んでいない」の合計)が23.4%となっている。性別でみると、“進んでいない”では男性(30.4%)が女性(14.7%)の2倍以上となっている。性・年代別でみると、いずれの年代でも“進んでいる”が“進んでいない”を上回っている。

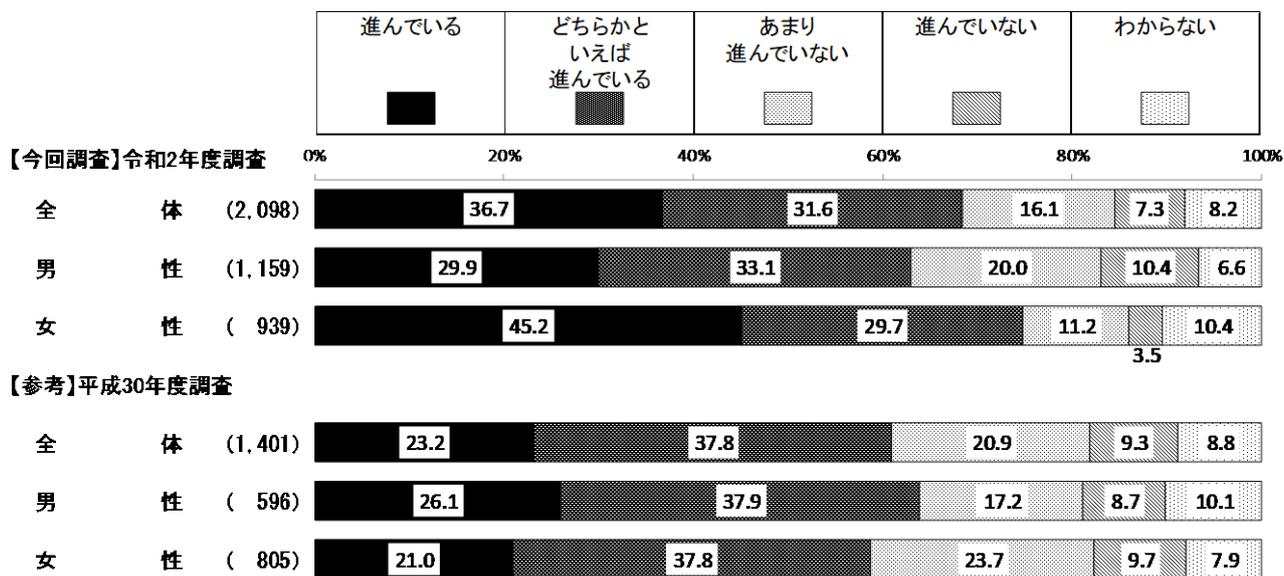
図表2-2 職場での女性の雇用・登用について - 性・年代別



(注) 問6～8は「2人以上が勤務する職場で働く方に」に対する質問であるため、無回答を除いて集計を行っています。

経年比較でみると、“進んでいる”（68.3%）は前回調査（61.0%）を7.3ポイント上回っている。

図表2-2-1 職場での女性の雇用・登用について — 経年比較



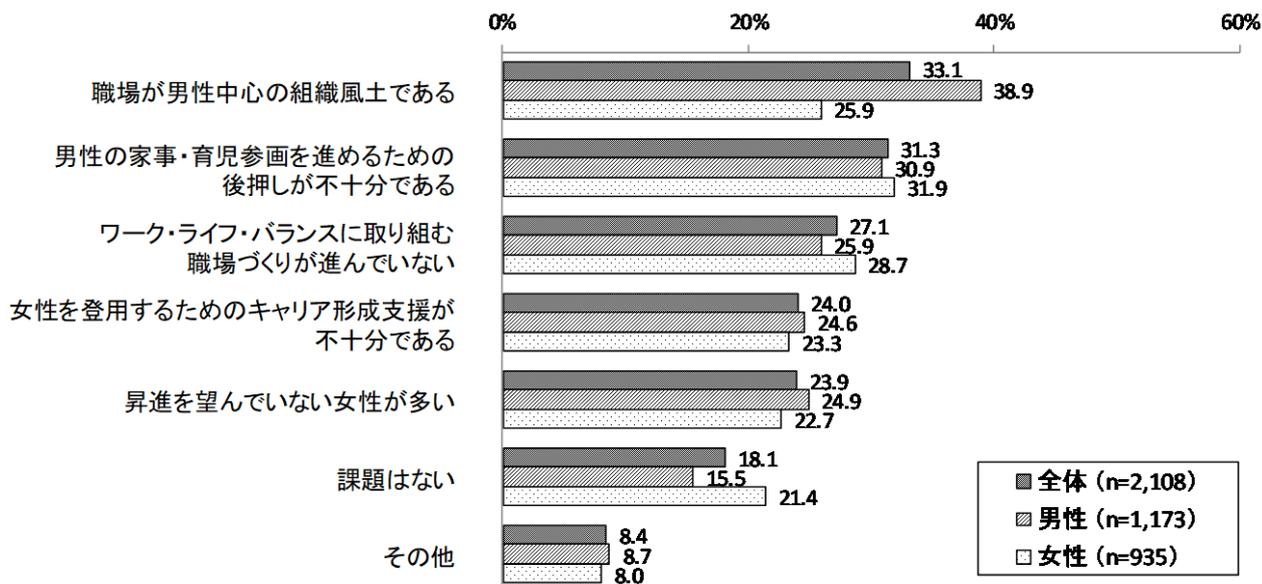
(注) 問6～8は「2人以上が勤務する職場で働く方に」に対する質問であるため、無回答を除いて集計を行っています。

3 職場での女性の雇用・登用を進める上での課題(問7) (複数回答)

2人以上が勤務する職場で働く方に、職場での女性の雇用・登用を進める上での課題をたずねた。全体では、「職場が男性中心の組織風土である」が33.1%で最も高く、次いで、「男性の家事・育児参画を進めるための後押しが不十分である」(31.3%)、「ワーク・ライフ・バランスに取り組む職場づくりが進んでいない」(27.1%)となっている。

性別で見ると、「職場が男性中心の組織風土である」は男性(38.9%)が女性(25.9%)を13.0ポイント上回っている。

図表2-3 職場での女性の雇用・登用を進める上での課題 — 性別



(注) 問6～8は「2人以上が勤務する職場で働く方に」に対する質問であるため、無回答を除いて集計を行っています。

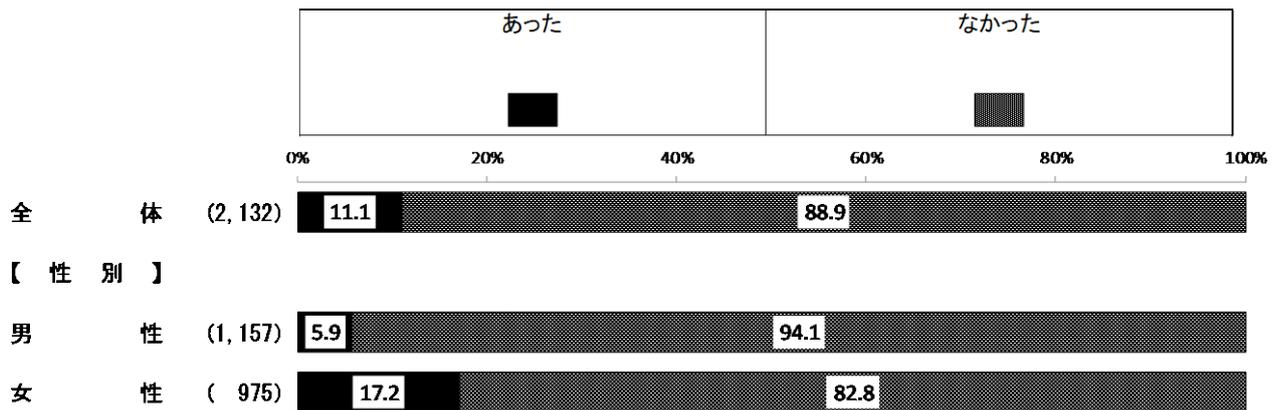
4 過去3年間にセクシュアル・ハラスメントと思う行為を受けた経験(問8)

2人以上が勤務する職場で働く方に、過去3年間にセクシュアル・ハラスメントと思う行為を受けた経験をたずねた。

全体では「受けたことがある」が11.1%、「受けたことはない」が88.9%となっている。

性別でみると、「受けたことがある」は女性(17.2%)が男性(5.9%)の3倍近くとなっている。

図表2-4 過去3年間にセクシュアル・ハラスメントと思う行為を受けた経験 - 性別



(注) 問6～8は「2人以上が勤務する職場で働く方に」に対する質問であるため、無回答を除いて集計を行っています。

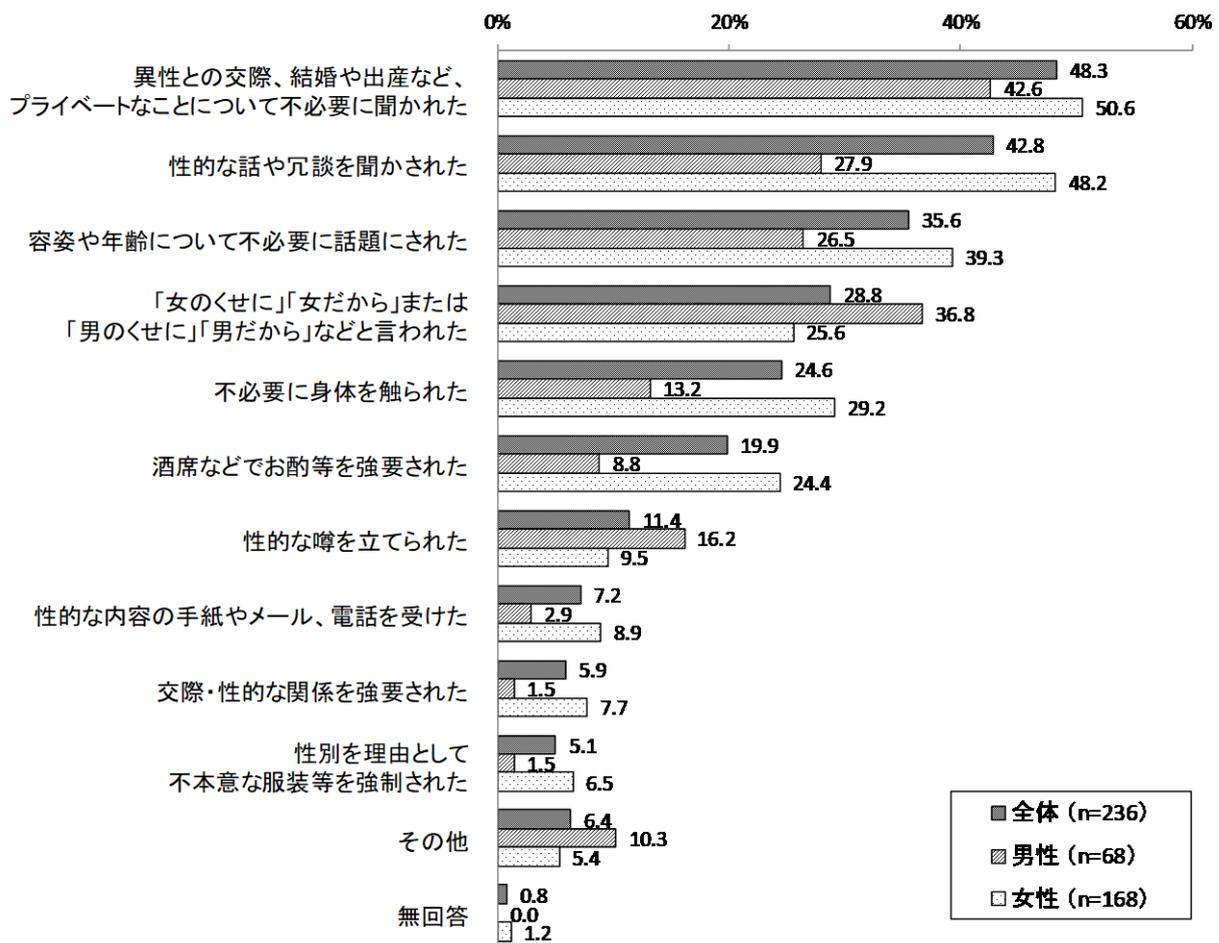
4-1 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメントと思う行為(問8-1) (複数回答)

問8で「受けたことがある」と回答した人(236人)に、その内容をたずねた。

全体では、「異性との交際、結婚や出産など、プライベートなことについて不必要に聞かれた」(48.3%)が最も高く、次いで、「性的な話や冗談を聞かされた」(42.8%)、「容姿や年齢について不必要に話題にされた」(35.6%)となっている。

性別で見ると、「性的な話や冗談を聞かされた」では女性(48.2%)が男性(27.9%)を20.3ポイント上回っている。一方、「女のくせに」「女だから」または「男のくせに」「男だから」などと言われた」では男性(36.8%)が女性(25.6%)を11.2ポイント上回っている。

図表2-4-1 受けたことがあるセクシュアル・ハラスメントと思う行為 - 性別



3章 仕事と家庭生活等の両立について

1 生活の中で各活動に費やしている時間（問9）

日頃の生活の中で、9つの活動に費やしている時間はどの程度かを、仕事や学校のある日と休みの日・仕事や学校のない日にわけてたずねた。

男性は女性よりも、仕事や学校に費やす時間が約3時間、通勤・通学に費やす時間が約40分長くなっている。

一方、女性は男性よりも「家事」及び「育児」に費やす時間が仕事や学校のある日で約3時間、ない日で約2時間30分長くなっている。

図表3-1-1 生活の中で各活動に費やしている時間
【仕事や学校のある日】 - 性別、性・年代別

		回答数	① 仕事・学校（通勤・通学時間を含む）	② 通勤・通学時間	③ 家事（炊事、洗濯、掃除など）	④ 育児	⑤ 介護	⑥ 地域活動	⑦ 個人の時間（学習、趣味、友人付き合い等）	⑧ 睡眠時間	⑨ その他	
全体		(n=2,415)	6時間51分	1時間15分	2時間19分	35分	5分	5分	3時間10分	6時間40分	3時間1分	
性別	男性	(n=1,222)	8時間14分	1時間34分	58分	13分	3分	3分	3時間22分	6時間40分	2時間56分	
	女性	(n=1,193)	5時間26分	56分	3時間43分	58分	8分	8分	2時間58分	6時間40分	3時間6分	
性・年代別	女性	10・20代	(n=202)	8時間7分	1時間39分	1時間11分	19分	0分	1分	3時間29分	6時間42分	2時間35分
		30代	(n=193)	6時間18分	1時間7分	3時間0分	3時間7分	1分	2分	2時間8分	6時間41分	1時間39分
		40代	(n=245)	6時間10分	56分	3時間55分	1時間38分	2分	2分	2時間5分	6時間30分	2時間45分
		50代	(n=224)	6時間2分	54分	4時間12分	12分	12分	4分	2時間46分	6時間20分	3時間18分
		60代	(n=140)	3時間20分	31分	4時間57分	7分	20分	14分	3時間33分	6時間49分	4時間9分
		70代以上	(n=189)	1時間34分	17分	5時間23分	8分	17分	28分	4時間15分	7時間5分	4時間33分
	男性	10・20代	(n=217)	8時間13分	1時間35分	49分	1分	0分	0分	4時間10分	6時間55分	2時間18分
		30代	(n=200)	9時間36分	1時間39分	57分	34分	1分	0分	2時間43分	6時間28分	2時間3分
		40代	(n=272)	9時間33分	1時間55分	48分	25分	1分	0分	2時間22分	6時間22分	2時間37分
		50代	(n=244)	9時間19分	1時間44分	49分	7分	4分	2分	2時間52分	6時間24分	2時間41分
		60代	(n=155)	6時間32分	1時間18分	1時間10分	1分	8分	4分	3時間57分	6時間53分	3時間57分
		70代以上	(n=134)	3時間35分	40分	1時間32分	1分	4分	16分	5時間18分	7時間20分	5時間16分

(注) 合計時間が23時間（1,380分）～25時間（1,500分）となっている方を対象に集計している。

図表 3-1-2 生活の中で各活動に費やしている時間

【休みの日・仕事や学校のない日】－ 性別、性・年代別

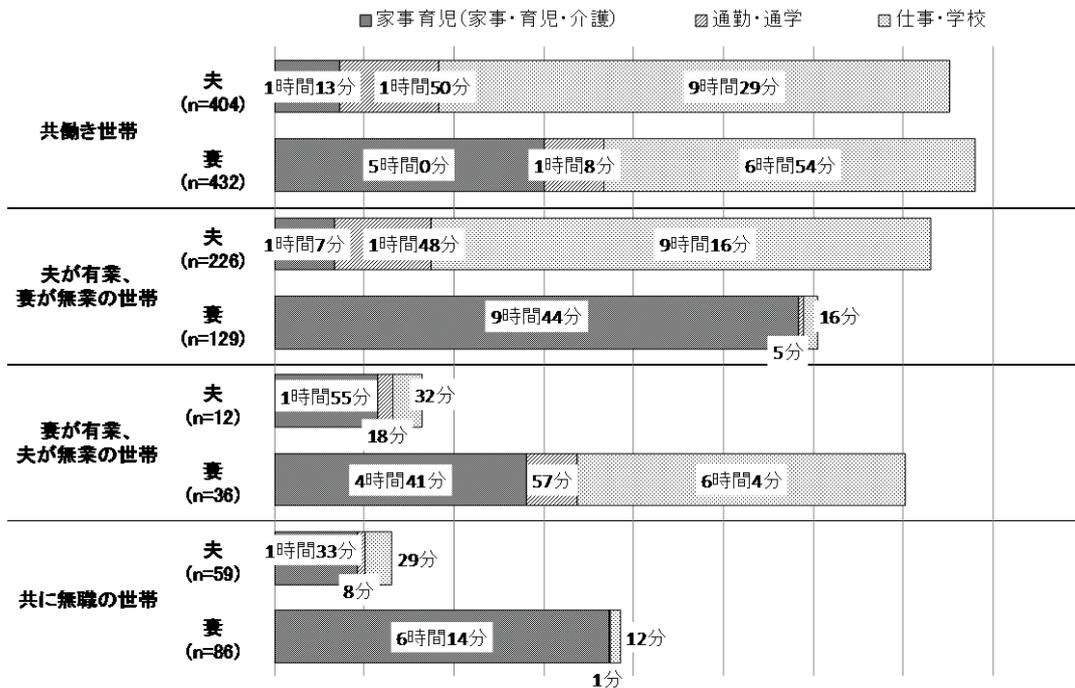
		回答数	①物 （ど） 洗濯、掃除な	③家事 （炊事、買	④育 児	⑤介 護	⑥地 域活 動	⑦習 合 （き 習、 趣味、 友人付 学	⑧睡 眠時 間	⑨そ の他
全 体		(n=2,352)	3時間 18分	1時間 14分	11分	10分	6時間 42分	7時間 37分	4時間 48分	
性別	男性	(n=1,220)	2時間 3分	59分	9分	10分	7時間 49分	7時間 41分	5時間 10分	
	女性	(n=1,132)	4時間 39分	1時間 30分	14分	11分	5時間 30分	7時間 32分	4時間 24分	
性・年代別	男性	10・20代	(n=210)	1時間 38分	18分	1分	1分	10時間 19分	8時間 17分	3時間 26分
		30代	(n=195)	2時間 21分	3時間 1分	1分	2分	6時間 46分	7時間 49分	4時間 0分
		40代	(n=256)	1時間 58分	1時間 49分	1分	8分	7時間 3分	7時間 36分	5時間 25分
		50代	(n=233)	2時間 8分	16分	20分	12分	7時間 53分	7時間 22分	5時間 50分
		60代	(n=160)	2時間 5分	4分	21分	14分	7時間 27分	7時間 28分	6時間 21分
		70代以上	(n=166)	2時間 12分	2分	11分	26分	7時間 17分	7時間 37分	6時間 14分
	女性	10・20代	(n=194)	2時間 0分	51分	0分	3分	8時間 30分	8時間 22分	4時間 15分
		30代	(n=186)	4時間 14分	4時間 40分	1分	2分	4時間 41分	7時間 43分	2時間 38分
		40代	(n=234)	5時間 12分	2時間 31分	7分	7分	4時間 26分	7時間 21分	4時間 14分
		50代	(n=209)	5時間 31分	16分	35分	13分	5時間 8分	7時間 11分	5時間 6分
		60代	(n=140)	5時間 37分	8分	33分	15分	4時間 48分	7時間 10分	5時間 29分
		70代以上	(n=169)	5時間 34分	2分	9分	27分	5時間 29分	7時間 17分	5時間 1分

(1) 生活の中で各活動に費やしている時間 [世帯類型別]

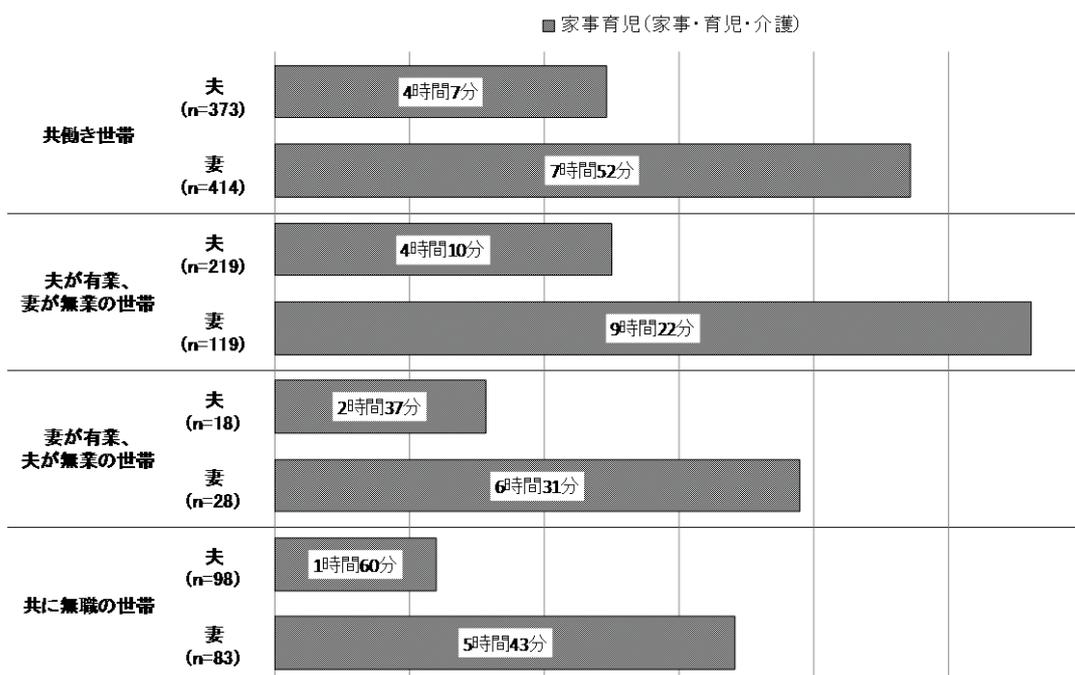
妻・夫の有業・無業にかかわらず、全世帯において夫より妻の家事育児時間が圧倒的に長い。

仕事や学校のある日において、共働き世帯の「家事育児（家事・育児・介護）」に費やす時間をみると、男性（1時間13分）と女性（5時間0分）は約1対4となっており、依然として女性に偏っている。

図表3-1-3 生活の中で各活動に費やしている時間
【仕事や学校のある日】 - 世帯類型別



図表3-1-4 生活の中で家事育児活動に費やしている時間
【休みの日・仕事や学校のない日】 - 世帯類型別



2 理想とする家事、育児、介護などの分担（問10（1））

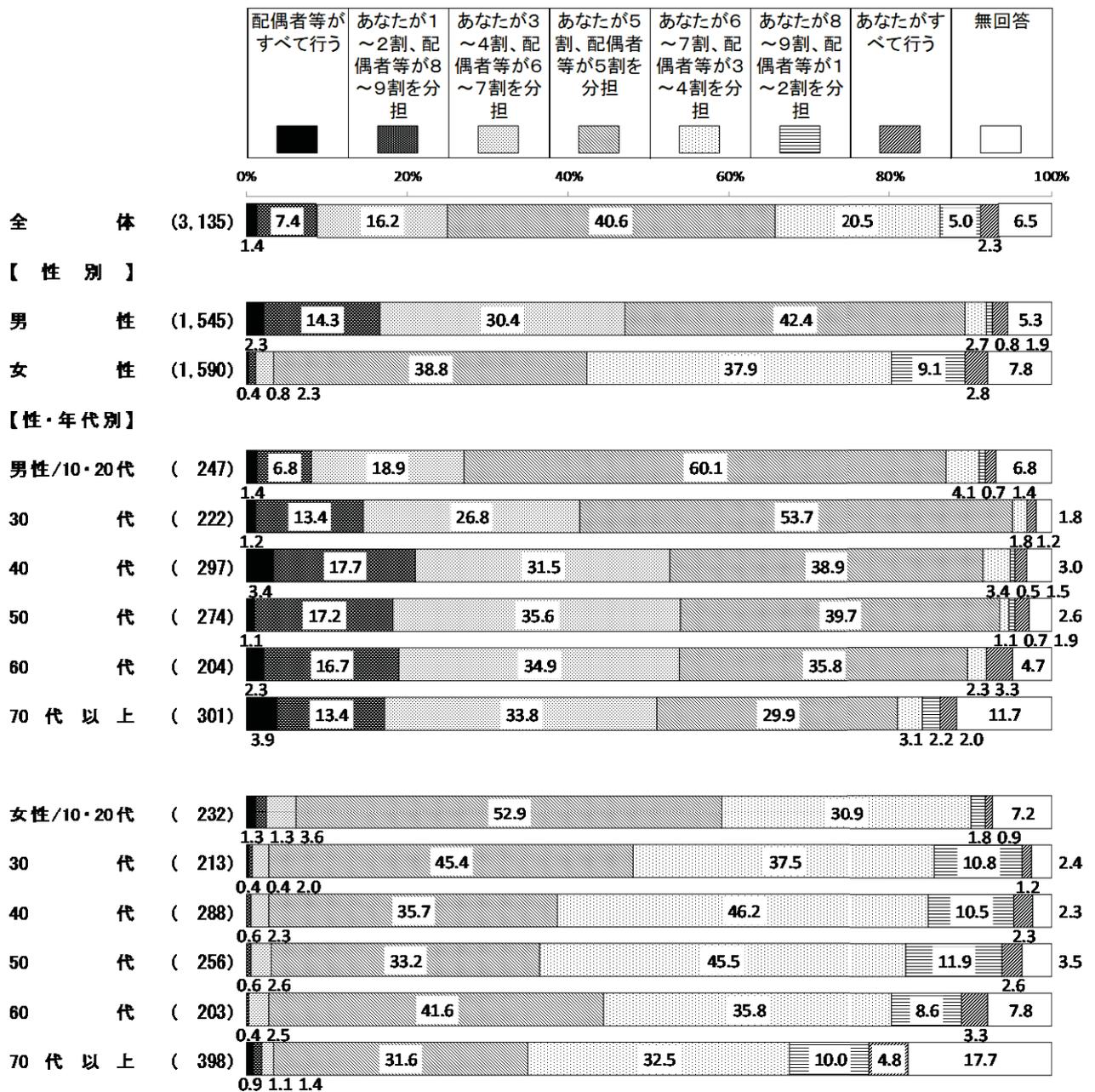
配偶者等の有無や、家事、育児、介護などを行っている、していないに関わらず、理想とする家事、育児、介護などの分担についてたずねた。

全体では「あなたが5割、配偶者等が5割を分担」（40.6%）の割合が最も高くなっている。

性別でも、男女ともに「あなたが5割、配偶者等が5割を分担」が最も高くなっており、男性（42.4%）が女性（38.8%）を3.6ポイント上回っている。

男性は40代以上の3割以上が「あなたが3～4割、配偶者等が6～7割」と回答している一方で、女性はいずれの年代においても3割以上が「あなたが6～7割、配偶者等が3～4割」と回答している。

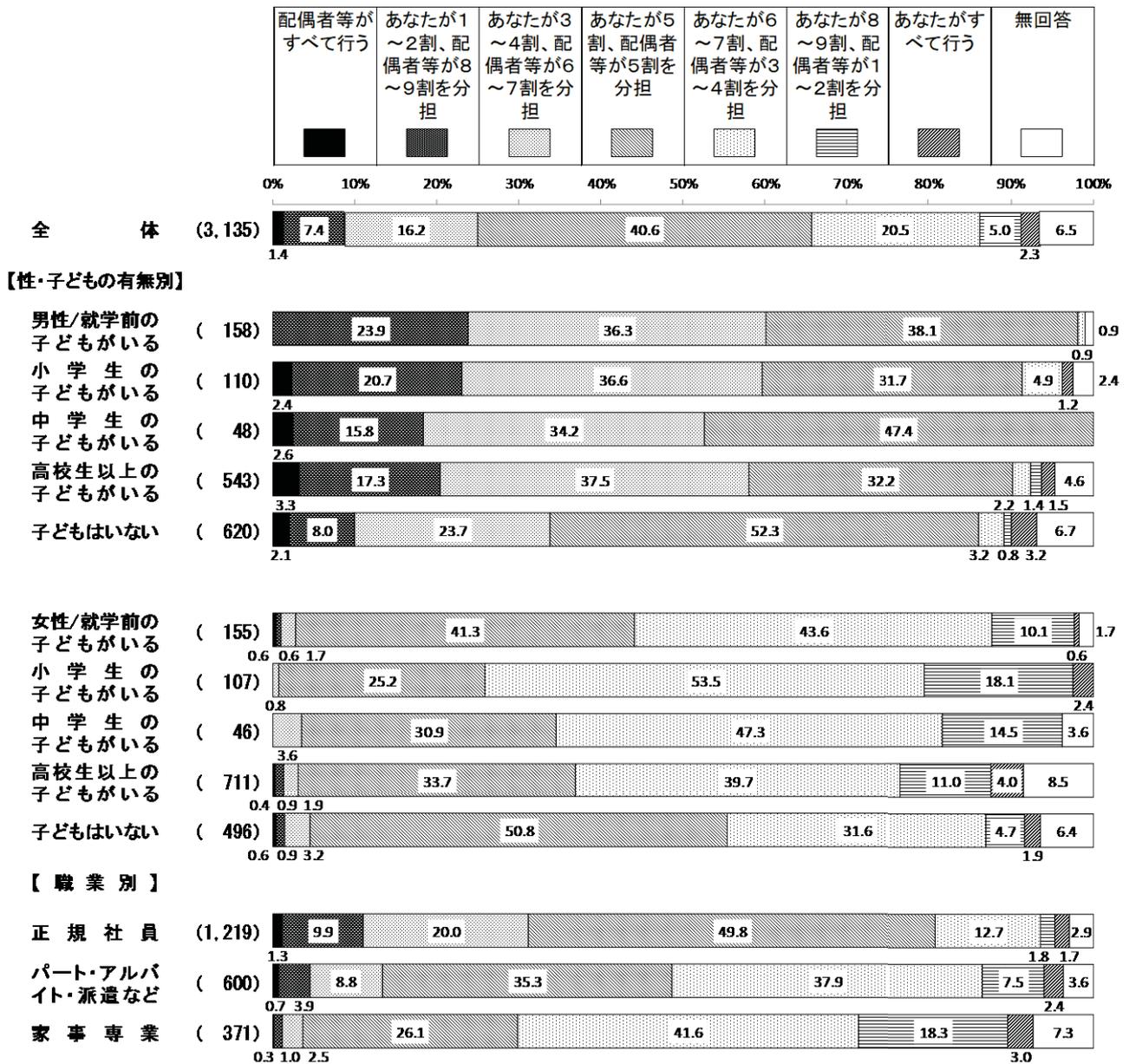
図表3-2 理想とする家事、育児、介護などの分担 — 性別、性・年代別



性・子どもの有無別でみると、「あなたが5割、配偶者等が5割を分担」は男女ともに子どもがいない世帯（男性52.3%、女性50.8%）で最も高く、「あなたが6～7割、配偶者等が3～4割を分担」は女性・小学生の子どもがいる世帯（53.5%）で最も高くなっている。

職業別でみると、「あなたが5割、配偶者等が5割を分担」は「正規社員」（49.8%）で最も高く、「あなたが6～7割、配偶者等が3～4割を分担」は「家事専業」（41.6%）で最も高くなっている。

図表3-2-1 理想とする家事、育児、介護などの分担 — 性・子どもの有無別、職業別

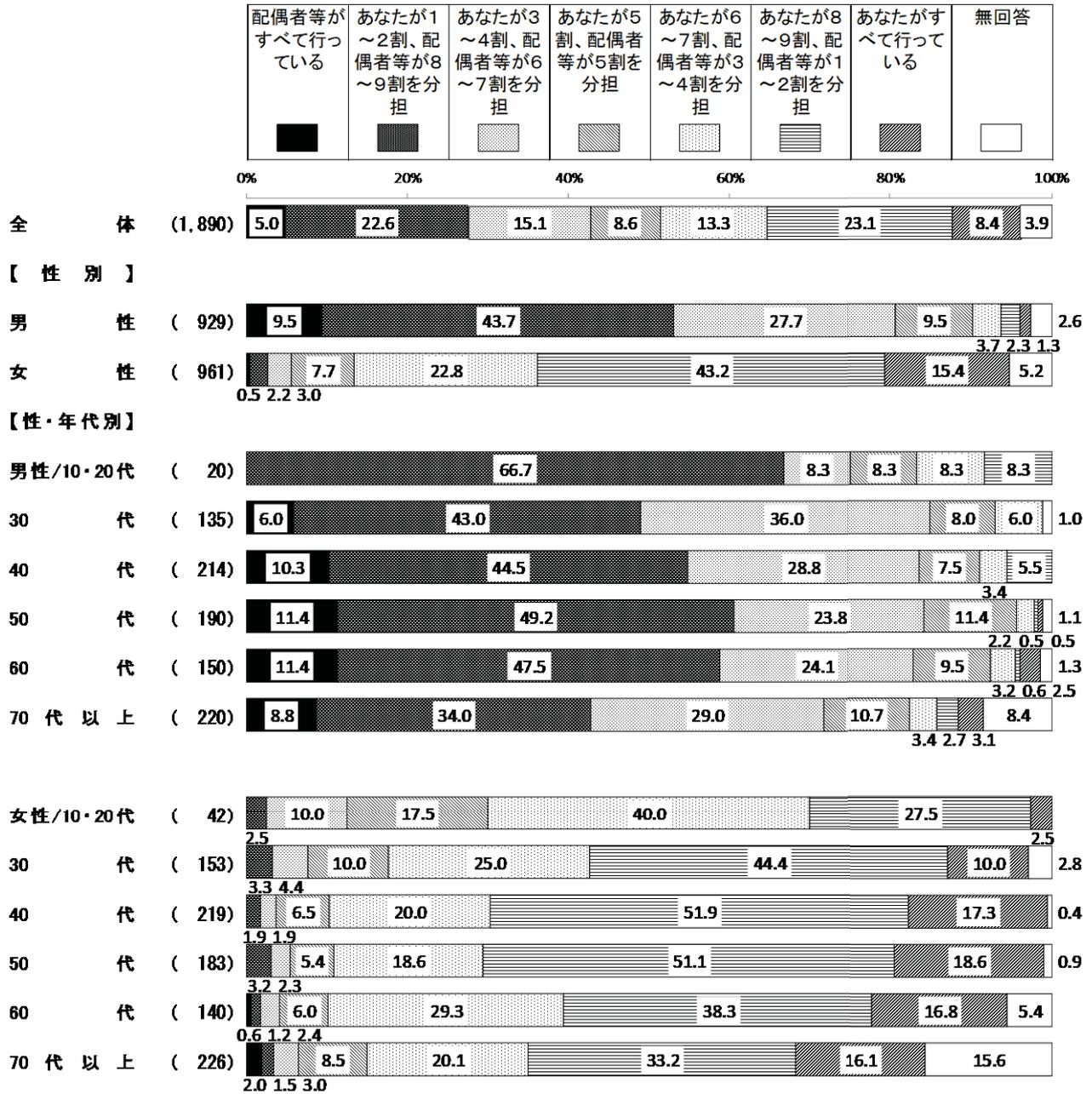


3 実際の家事、育児、介護などの分担（問10（2））

配偶者やパートナーと同居している方に、実際の家事、育児、介護などの分担についてたずねた。

性別で見ると、男性では「あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担」が43.7%で最も高く、女性では「あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担」が43.2%で最も高くなっている。

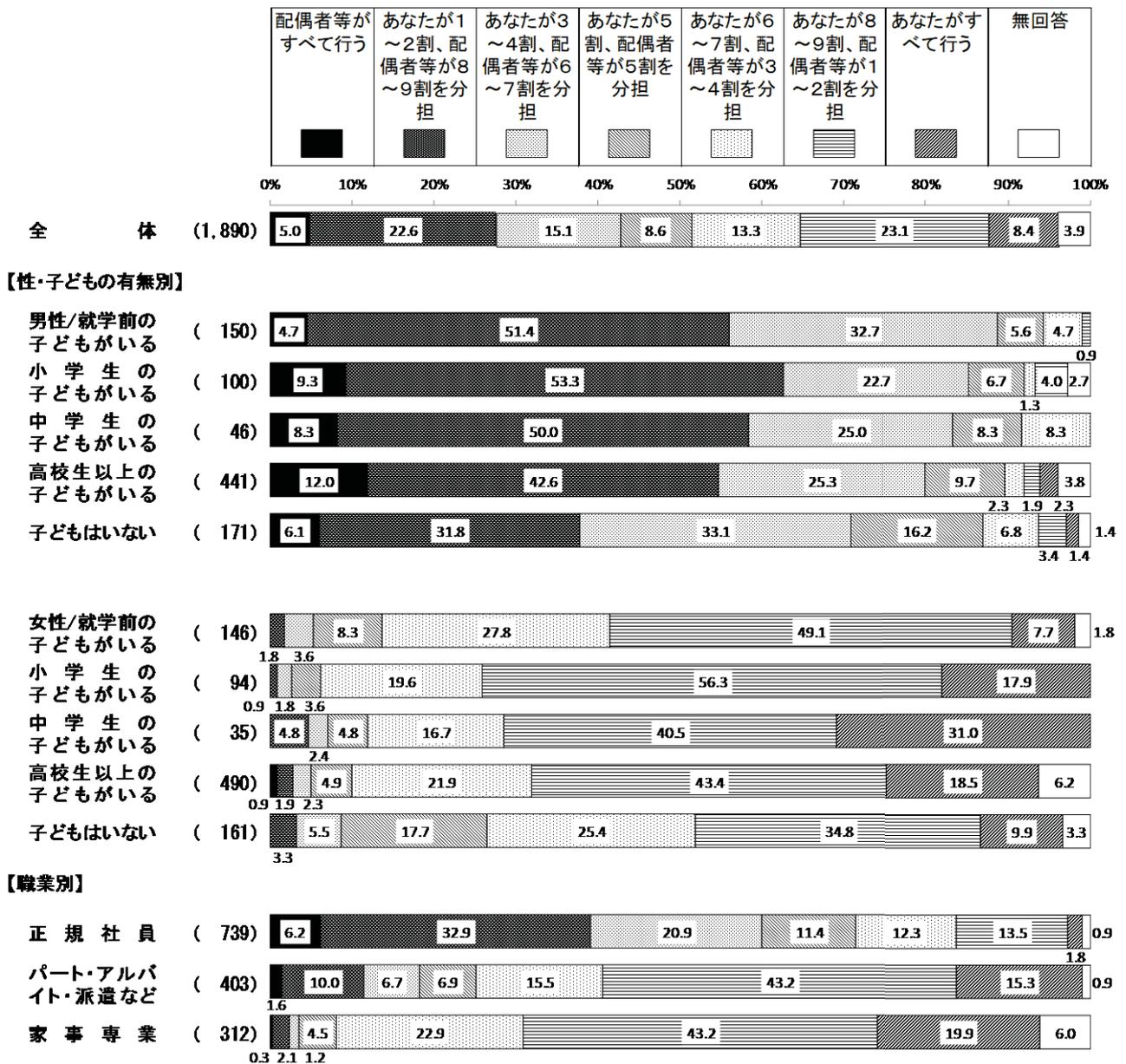
図表3-3 実際の家事、育児、介護などの分担 — 性別、性・年代別



性・子どもの有無別でみると、「あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担」は女性・小学生の子どもがいる世帯（56.3%）で最も高く、「あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担」は男性・小学生の子どもがいる世帯（53.3%）で最も高くなっている。

職業別でみると、「あなたが8～9割、配偶者等が1～2割を分担」は「パート・アルバイト・派遣など」と「家事専業」（43.2%）で最も高く、「あなたが1～2割、配偶者等が8～9割を分担」は「正規社員」（32.9%）で最も高くなっている。

図表3-3-1 実際の家事、育児、介護などの分担 — 性・子どもの有無別、職業別



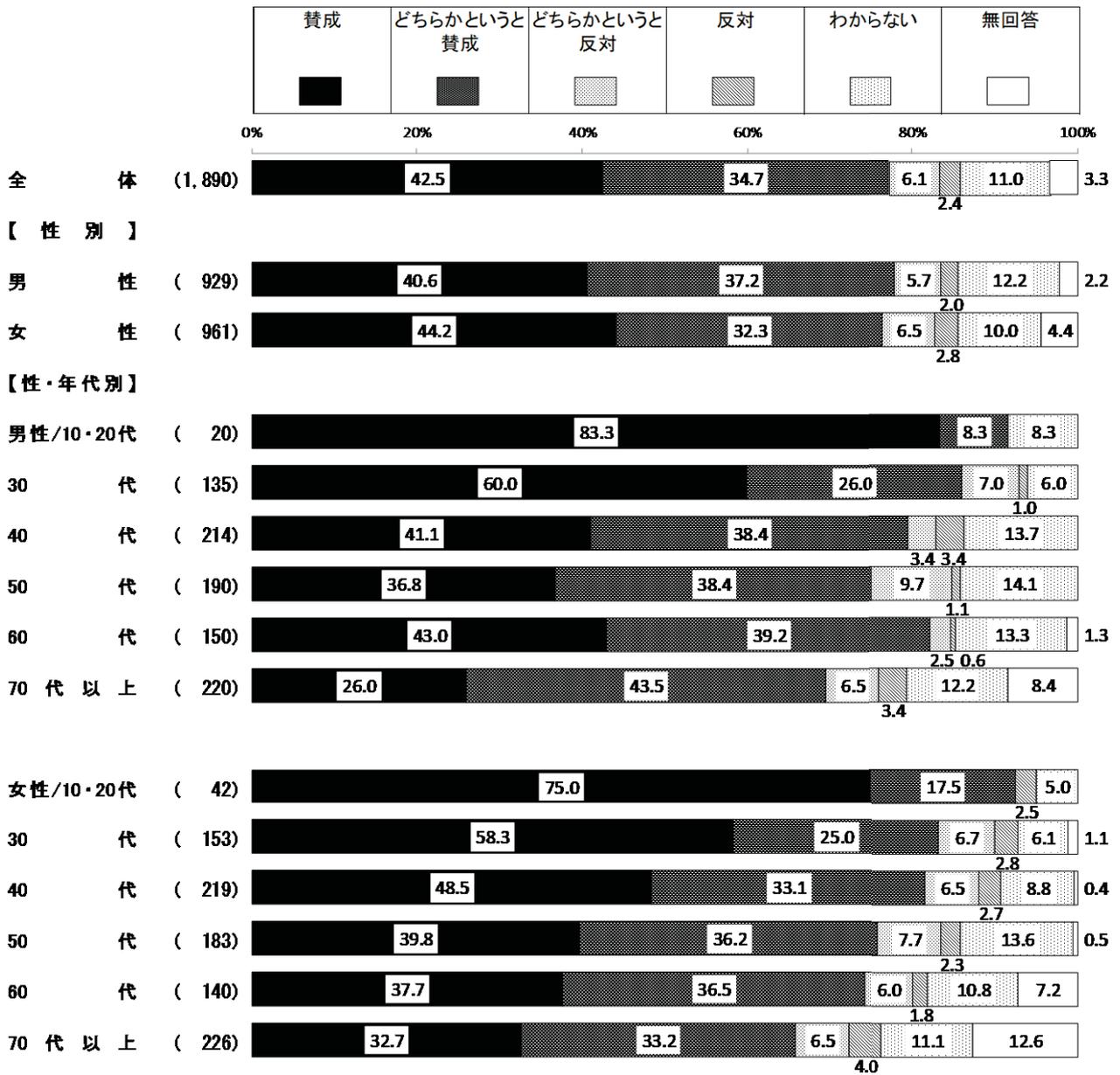
4 男性が育児や介護のために休業や休暇を取得することに対する意識（問11）

男性が育児や介護のために休業や休暇を取得することについてどう思うかをたずねた。

全体、男性、女性いずれも、“賛成”（「賛成」と「どちらかという賛成」の合計）が8割近くとなっており、“反対”（「反対」と「どちらかという反対」の合計）の1割未満を大きく上回り、取得することに対する“賛成”という意見が圧倒的に高くなっている。

図表3-4 男性が育児や介護のために休業や休暇を取得することに対する意識

— 性別、性・年代別



4-1 男性が育児や介護のために休業や休暇を取得することに反対する理由（問11-1）

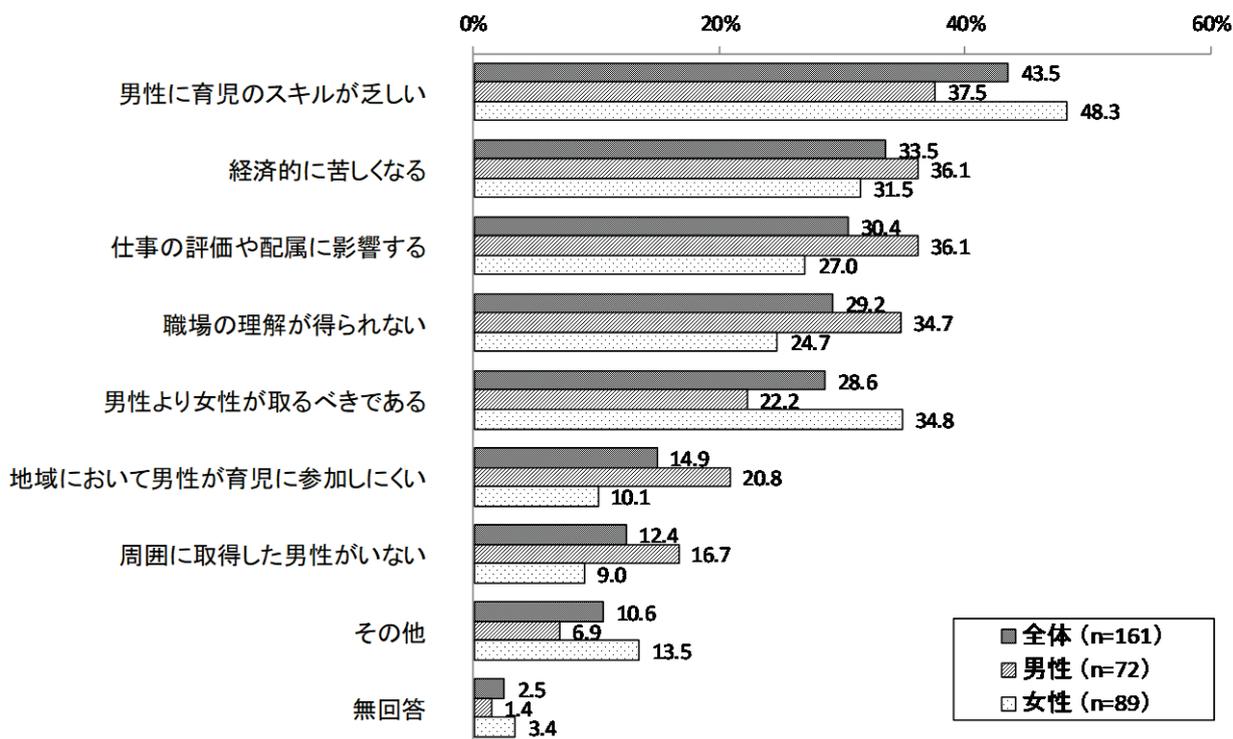
（複数回答）

男性が育児や介護のために休業や休暇を取得することについて、「反対」あるいは「どちらかという反対」と回答した人（161人）にそう考える理由をたずねた。

全体では4割以上（43.5%）が「男性に育児のスキルが乏しい」と回答した。次いで、「経済的に苦しくなる」（33.5%）、「仕事の評価や配属に影響する」（30.4%）となっている。

性別でみると、「男性より女性を取るべきである」では女性（34.8%）が男性（22.2%）を12.6ポイント上回っている。一方で、「地域において男性が育児に参加しにくい」では男性（20.8%）が女性（10.1%）を10.7ポイント上回っている。

図表3-4-1 男性が育児や介護のために休業や休暇を取得することに反対する理由 — 性別



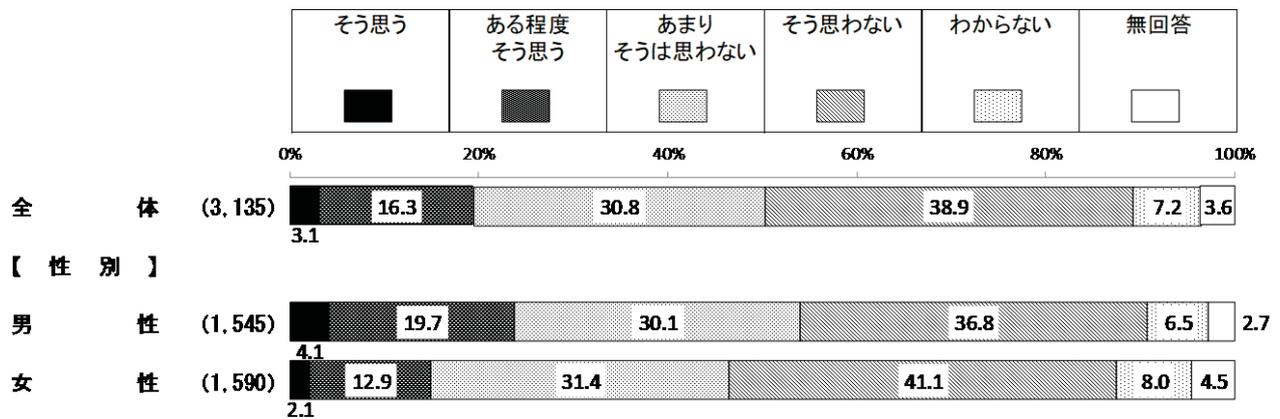
5 男性が育児や介護のための休業や休暇をとることについての

社会や企業の支援・理解が十分だと思うかどうか（問12）

男性が育児や介護のための休業や休暇をとることについての社会や企業の支援・理解が十分だと思うかどうかをたずねた。「育児」「介護」いずれの項目でも、“そう思わない”（「そう思わない」と「あまりそうは思わない」の合計）が7割前後となっており、社会や企業の支援が十分ではないと考えられている。

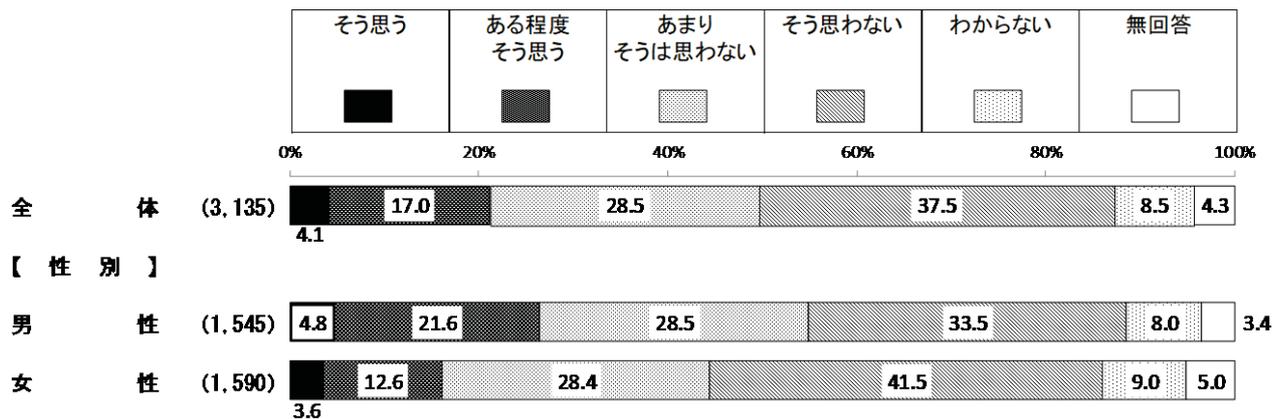
図表 3-5-1 男性が「育児」のための休業や休暇をとることについての

社会や企業の支援が十分だと思うか — 性別



図表 3-5-2 男性が「介護」のための休業や休暇をとることについての

社会や企業の支援が十分だと思うか — 性別



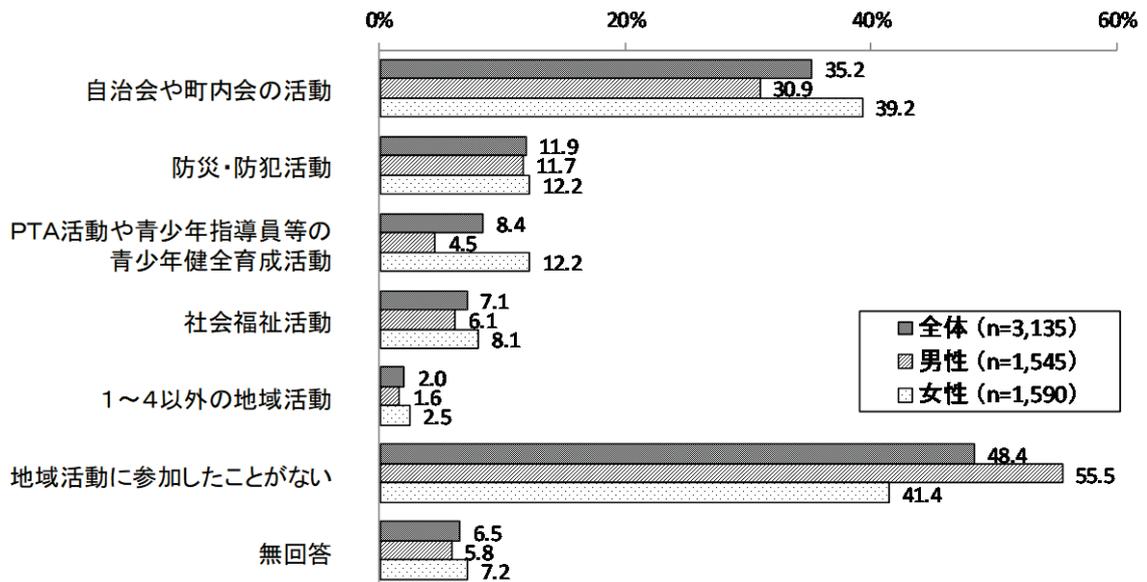
6 さまざまな地域活動への参加状況（問13）（複数回答）

さまざまな地域活動について、この3年間に参加したことがあるかをたずねた。

全体では「地域活動に参加したことがない」が48.4%で最も高く、参加したことがある活動としては、「自治会や町内会の活動」（35.2%）が最も高くなっている

性別でみると、「自治会や町内会の活動」では女性（39.2%）が男性（30.9%）を8.3ポイント上回っている。一方、「地域活動に参加したことがない」は男性（55.5%）が女性（41.4%）を14.1ポイント上回っている。

図表3-6 さまざまな地域活動への参加状況 — 性別

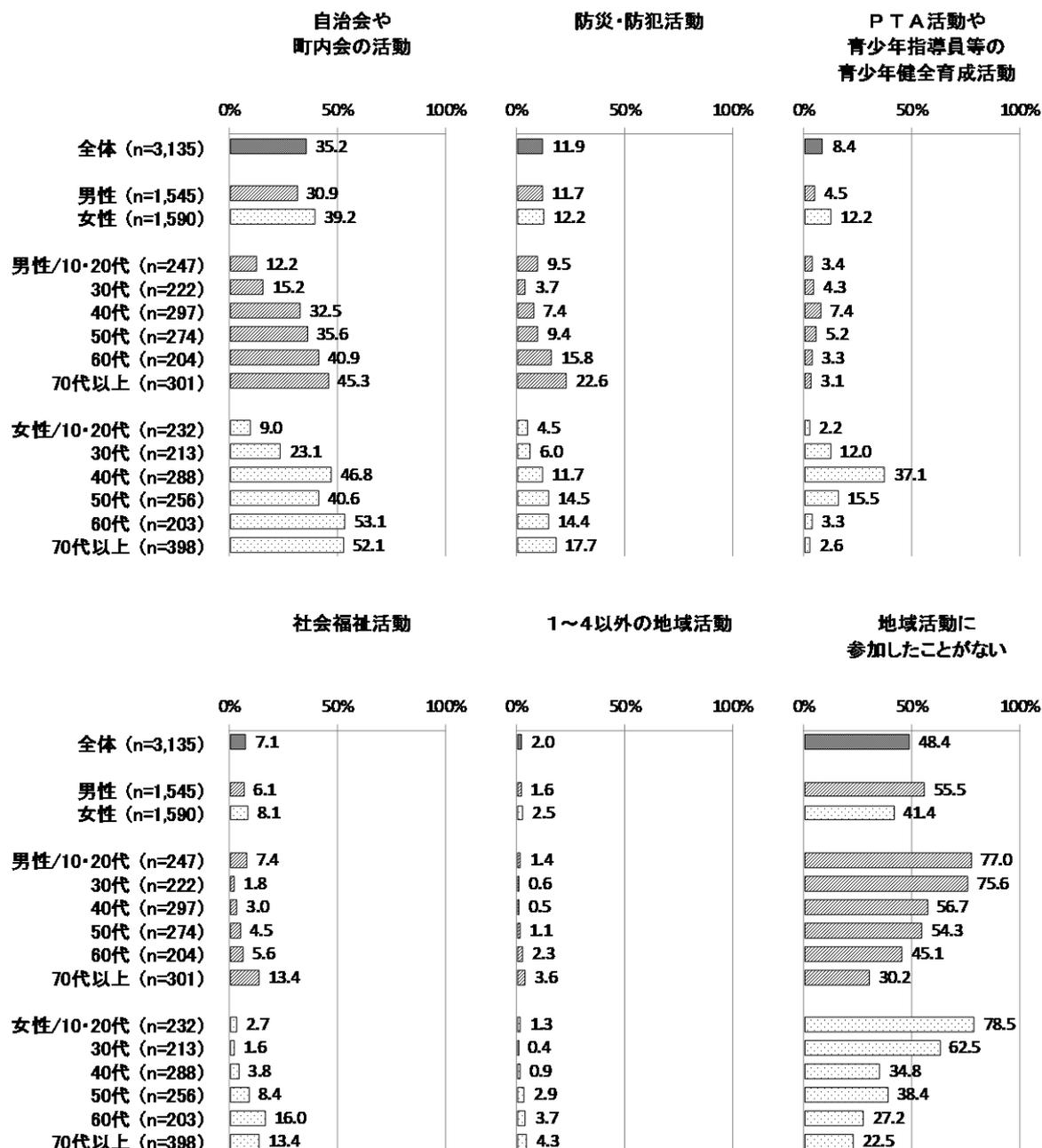


地域活動への参加状況を性別でみると、女性の方が参加の割合が高い。

性・年代別でみると、60代女性・70代以上女性の5割以上が「自治会や町内会等の活動」に参加したことがあると回答しており、男性では年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向が見られる。

「地域活動に参加したことがない」では、10・20代を除くすべての年代において男性が女性を上回っている。

図表3-6-1 さまざまな地域活動への参加状況 — 性別、性・年代別



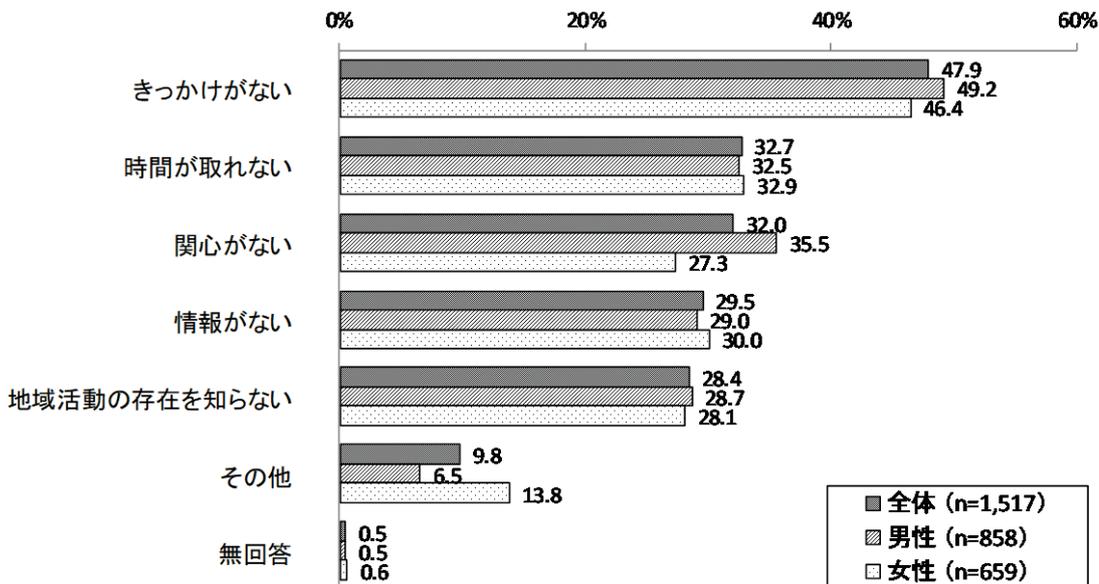
6-1 地域活動に参加したことがない理由（問13-1）（複数回答）

「地域活動に参加したことがない」と回答した人（1,517人）に、その理由をたずねた。

全体では「きっかけがない」（47.9%）が最も高く、次いで「時間が取れない」（32.7%）、「関心がない」（32.0%）となっている。

性別で見ると、「関心がない」では男性（35.5%）が女性（27.3%）を8.2ポイント上回っている。

図表3-6-2 地域活動に参加したことがない理由 — 性別



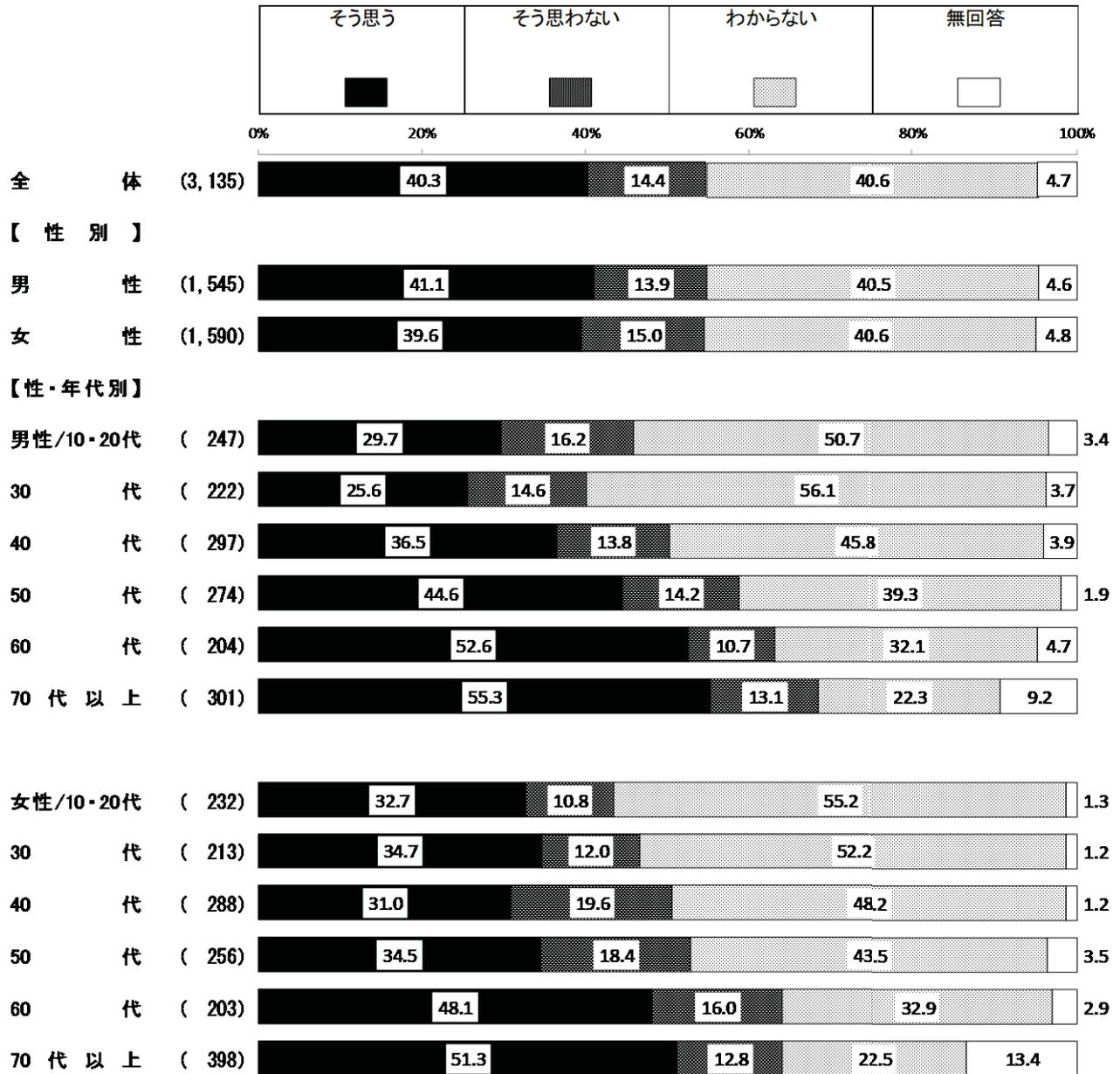
7 地域活動のリーダーとして女性参画の必要性(問 14)

地域活動のリーダーとして、女性の参画が必要だと思うかをたずねた。

全体では「そう思う」が40.3%、「そう思わない」が14.4%となっている。

性・年代別でみると、「そう思う」は男女いずれも60代と70代以上で5割前後と高くなっている。

図表3-7 地域活動のリーダーとして女性参画の必要性 - 性別、性・年代別



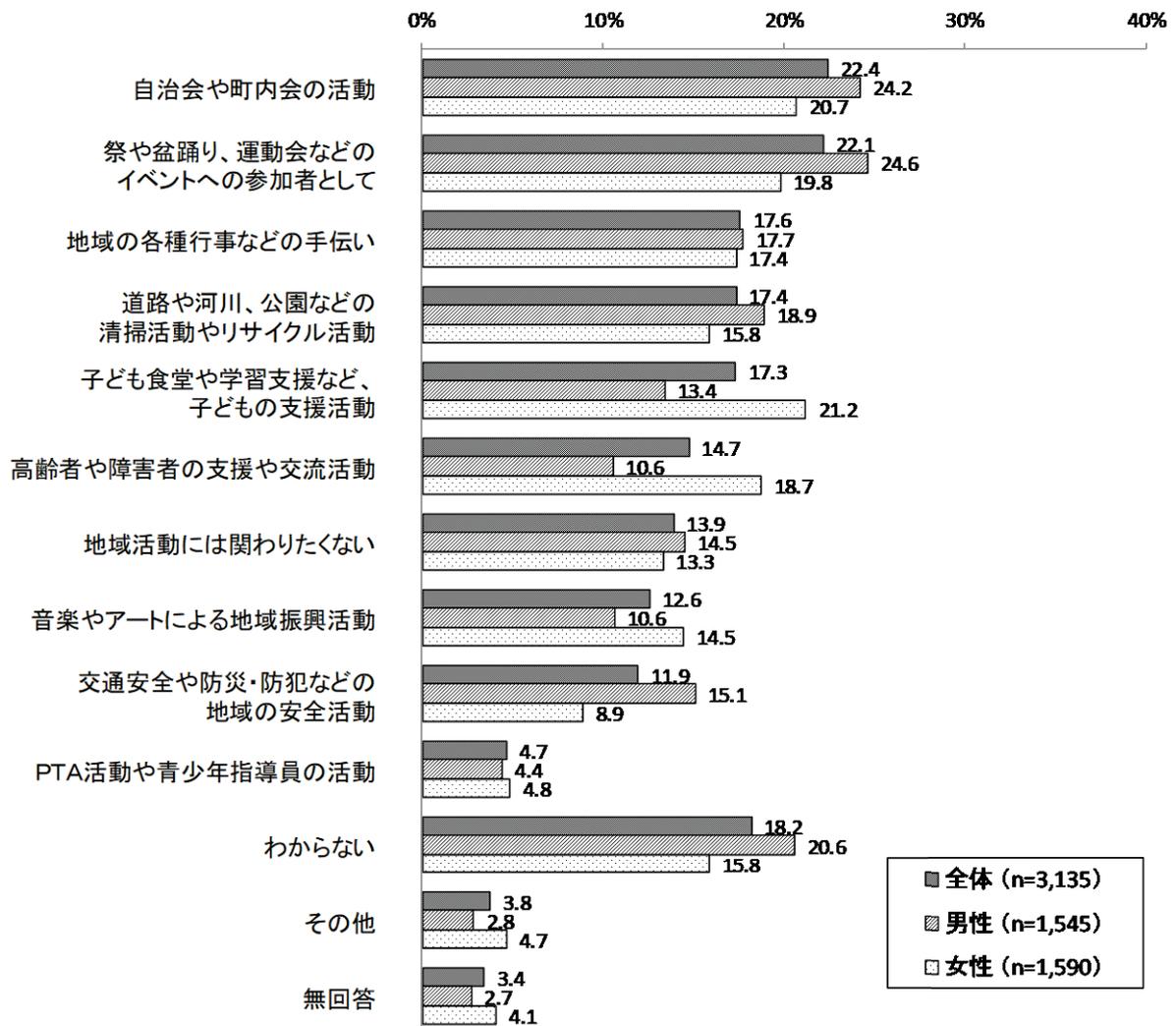
8 地域活動への今後の参加意向(問 15) (複数回答)

今後どのような地域活動に関わっていきたいと思うかをたずねた。

全体では、「自治会や町内会の活動」(22.4%)の割合が最も高く、次いで、「祭や盆踊り、運動会などのイベントへの参加者として」(22.1%)、「地域の各種行事などの手伝い」(17.6%)となっている。

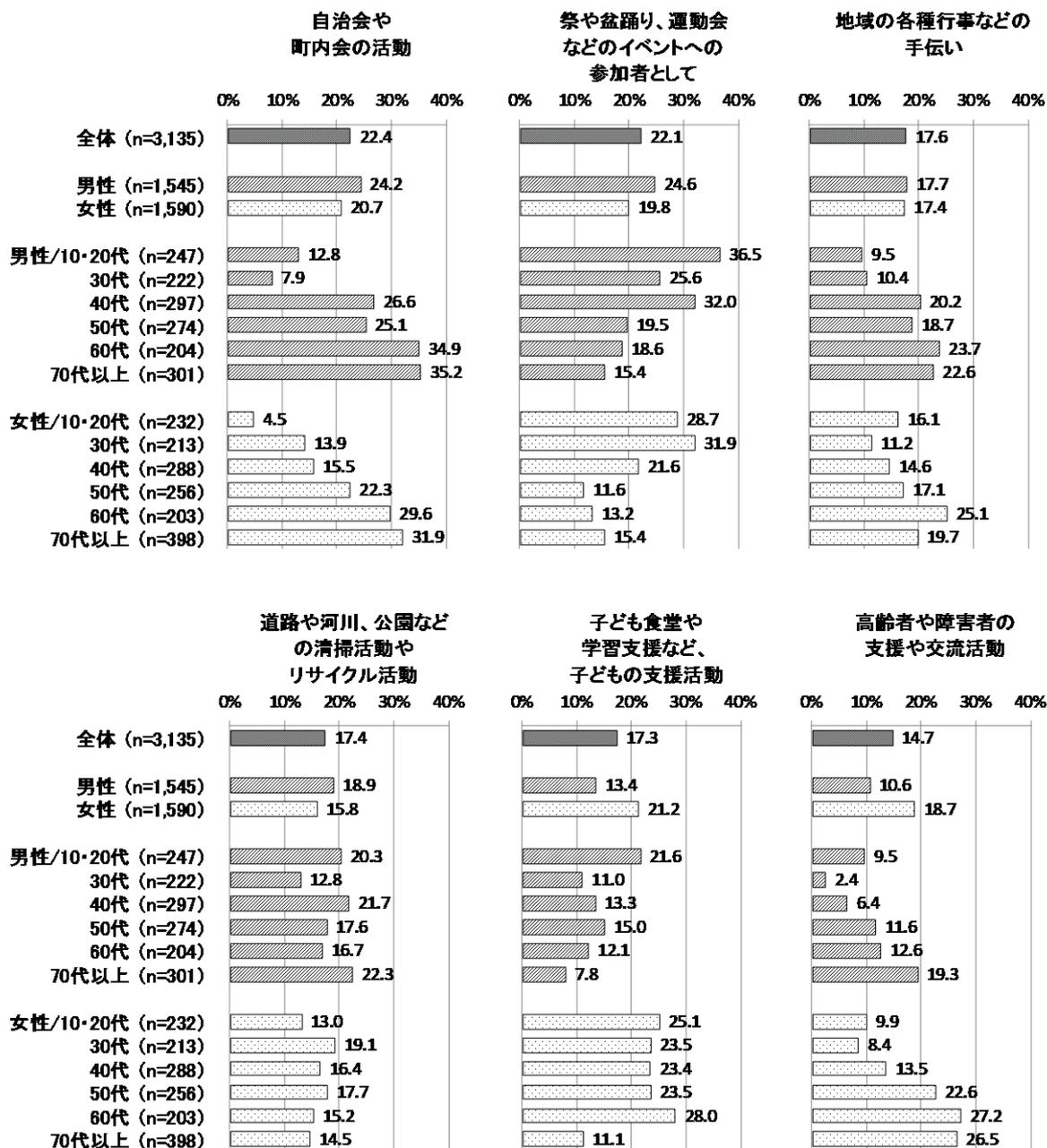
性別で見ると、「高齢者や障害者の支援や交流活動」では女性(18.7%)が男性(10.6%)を8.1ポイント上回っている。一方、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」では男性(15.1%)が女性(8.9%)を6.2ポイント上回っている。

図表3-8 地域活動への今後の参加意向 — 性別

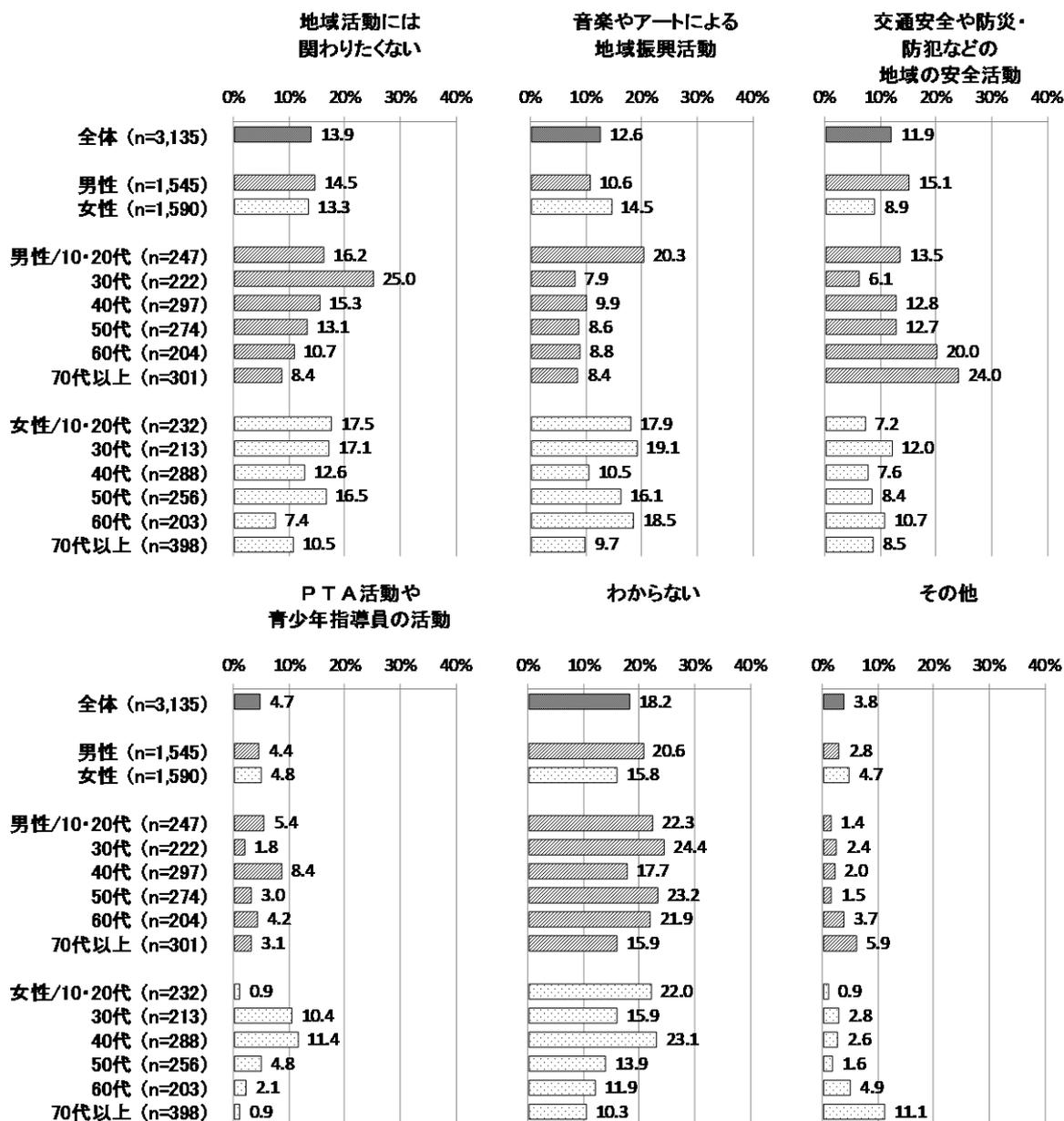


性・年代別でみると、「自治会や町内会の活動」では女性 70 代以上（31.9%）が最も高く、「祭や盆踊り、運動会などのイベントへの参加者として」は男性 10・20 代（36.5%）が最も高くなっている。

図表 3-8-1 地域活動への今後の参加意向 - 性・年代別 (1/2)



図表 3-8-1 地域活動への今後の参加意向 - 性・年代別 (2/2)



子どもの年齢区分でみると、「自治会や町内会の活動」では中学生（24.7%）が最も高く、「祭や盆踊り、運動会などのイベントへの参加者として」は就学前（38.6%）が最も高くなっている。

図表 3-8-2 地域活動への今後の参加意向 — 子どもの年齢区分別

